

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

いよいよ明日から夏休みです。

これまで、朝から夕方まで、時間で区切られた学校生活を送ってきました。明日から8月31日まで、この時間帯がある程度自分の意思で使えることとなります。せっかく自分のために与えられた時間です。8月31日の夜に「この夏休み何したっけ?」や「あのとき、〇〇しておけばよかった.....」という後悔をしないためにも、見通しを持って45日間過ごしてほしいと思います。

3年生にとっては、この夏休みは受験に向けて、学習面で1・2年生の内容を復習、定着させる絶好の機会です。また、学習面だけではなく、自分の進路先について、十分に調べ、知り、そして考える機会をつくることもできます。そのために、各校で実施される学校説明会や高校生活入門講座に積極的に参加することをお勧めします。また、時間を作って自分が通おうと思っている学校の前まで、実際の通学手段を想定して行ってみるのもいいと思います(ただし、敷地内に入ることはNGです)。「来年4月には、この学校の生徒になる!」と目標を定めることで、勉強にさらに集中できるかもしれませんね。自分としっかり向き合い、自分の適性は何かを考え、「今からここから」計画を立て、実行してみてください。



1、2年生のみなさんは、1学期の学習内容をしっかり復習し、定着を図ってください。2学期以降、学年ごとに内容もどんどん専門的になり、難しくなってきます。難しくなっていく学習内容に対応していくためには、新しいことを行うのではなく、これまでの内容を積み残さず、基盤として定着させることが大切です。

また、ある程度自由になる時間がある夏休みに、これまで学習してきた内容で、「面白そう」と興味を持ったことを本で調べたり、博物館や美術館、資料館等に行き鑑賞したり、現地に行ってその場の雰囲気等を体感したりすることもいいと思います。

みなさんそれぞれが「やりたい」と興味を持ったことができる夏休みですが、「自分のいのちは自分で守る」こと、「社会的規則やマナーを守ること」そして「『早寝・早起き・朝ごはん』、規則正しい生活を送ること」を心がけてください。

9月1日には、みなさんが笑顔で元気に登校できるように、見通しを持って過ごしてほしいと思います。

保護者のみなさまにおかれましては、14日から16日にかけて、ご多忙の中、保護者会に来校いただき、短い時間ではありましたが、担任と懇談していただき、本当にありがとうございました。17日に終業式を行い、45日間の夏休み、こどもたちは各家庭で1日を過ごすこととなります。おこさまがお家にいることで、学校があるときとは違うご苦労もあらうかとお察しします。

特に、スマホの使い方については、保護者のみなさまにおかれましても心配されるところではないでしょうか。こどもには使用時間等、自己管理できるようになってほしいとお考えの保護者の方もたくさんおみえになると思います。Web記事と書籍を紹介させていただきます。保護者のみなさまには参考にさせていただくとともに、このことを話題に各ご家庭でスマホの使用方法等についておこさまとお話するきっかけとしていただければ幸いです。

<参考 Web 記事>

「夏休み、ずっとスマホを見て終わる」子どもに、怖いほど共通すること

<https://diamond.jp/articles/-/393925>

<参考書籍>

「何もせず1日が終わった」がなくなる脱スマホ術 戸田大介 著 ダイアモンド社

さて、天気予報では今年の夏も暑いと予報が出ています。保護者のみなさまにおかれましてはご自愛いただき、おこさまと一緒に楽しく有意義な夏休みをお過ごしください。

1 学期間、本当にありがとうございました。2学期もよろしくお願いします。

被爆体験記朗読会を聴いて考えました

『天中だより第13号』でお知らせしました、被爆体験記朗読会を聴いて、こどもたちが次のようなふり返りをしましたので紹介します。少し日経ってしまいましたが、各ご家庭でも、お子様に朗読会の様子を聴いていただけると幸いです。平和な世の中が続くことを祈って....

- 核兵器で、日本がこんなに残酷な目にあっているのに今でも世界は核兵器を作り続けているということが信じられませんでした。広島は原爆投下後黒い雨（放射能を含んだ雨）は降ったと勉強しましたが、長崎は原爆の成分も威力も大きさも違うから、黒い雨が降ったのか聞きそびれてしまって悔しかったです。原爆投下後の体験記の本があると知って、原爆の被爆者がどれだけ残酷な目にあって、平和を祈ることをどれだけ次世代へと伝えていきたいかが分かりました。さらに、長崎の方々三重県まで来てくださったので、どれだけいろいろな人達に原爆の残酷さ平和の大切さを伝えたいのかが分かりました。今回の話を聞いて、今こうして笑顔でいられることのありがたさがよく分かりました。本の体験記の中にあった、「この人は死んでいる」という内容があまりにも残酷で、自分の親（家族）がたった一つの爆弾で命を落としたりなんかしたら、どれだけ悲しいか考えただけで、平和のありがたさ大切さが分かりました。今回来てくださった人も実際は被爆していないのに次世代へと原爆の残酷さ平和の大切さを伝えようとしているので、私もできるだけ周りの人に平和の大切さなどを詳しく相手が嫌だろうと知ってほしいので伝えていこうと思いました。そして、平和を表す鶴や千羽鶴が長崎や広島など戦争や震災でたくさんおいてある意味が分かったような気がします。さらに、私が思っていた爆弾は地上に落ちた衝撃で爆発すると思っていたけれど、原爆は上空のとても上で爆発するということが、より詳しくどのくらいの高さなのかが復習して知ることができたので良かったなと思いました。ケロイドなどは勉強していたけれど、意味がわからなかったので調べようと思いました。色々な難しい言葉などが出てきたので、色々調べるものを発見することができて良かったです。長崎のほうが原爆の威力が大きいということが分かって、長崎のほうが原爆の被害は大きかったのかということが気づけました。なので調べてみようと思いました。そして、広島のほうが距離的には近いのに長崎の方々に来てくださったということは長崎のほうが残酷だったのかなと思いました。（1年）
- 原爆のことは小学校の頃から少し興味があったからある程度は知っていたけど被爆者の方の話を聞いていたら初めて知ったことばかりでした。原爆の熱さや時刻などを聞いて一番今考えたらめっちゃ怖いなと思ったことは地上500mで爆発して6000度の熱さが自分の肌とかに当たるとか考えたら怖くてしょうがないなと感じた。体験記を聞いて死体や人の油などが川とかに浮いてる中それしか飲むものがないからそれを飲んで飲んでいく人も居るってわかったから今の自分たちは争いもなければ飲み物もないってことがないからめっちゃ幸せやなと思った。話全体を通して原爆はほんとに怖くて戦争は残酷だなと思った。ずっと小学校の頃から（追悼平和）祈念館は行きたいと思っていたからいつか行けたらいいなと思いました。（2年）
- 81年前に、広島や長崎で、原爆が落ち、たくさんの方が被害にあったと知ってびっくりした。長崎では当時の人口の約三分の二が死亡していたり、負傷していたりしたとわかった。爆心地の近くにある学校では1500人を超える子どもが通っていたのに1300人以上がなくなってしまったと知って、同じような年齢の身としては、すごく悲しくて、嫌なことだなと思った。中には、両親や兄弟をみんな失ってただ一人生き残った子もいるらしく、その子はすごく心細いだろうなと思った。アメリカ軍に落とされる前の画像と落とされた後の画像を見て、被害の大きさがわかった。密集していた住宅は全部燃えていて、鉄筋だったものだけ残ろうじて残っていた。原爆の約15%にあたる放射線を浴びると、急性障害で高熱や下痢などの症状が出て苦しんだ人も居たとわかった。数十年後に症状がでる後障害というものもあるとわかった。放射線を浴びると、何年も何十年も苦しみに耐えないといけなから怖いなと思った。苦しそうだなと思った。二度と戦争を起こしたくないなと感じた。広島は原爆祈念館に行ったことがあるが、やっぱり、苦しいもので、辛いものだなと思った。被爆当時のものや残りがあったのを思い出した。そこには、人の形をした焼け跡が壁についていたりしていた。怖かった。今日の話と広島のを通して、やっぱり戦争は怖いなと思った。実際に体験していた人たちは、私たちより、もっと苦しいなと思った。（2年）



地区大会 がんばりました

このたよりが発行される時点での中体連地区大会の結果をご報告します。

今年度は、悪天候による順延があり、まだ終了していない競技も多く残っています。

日ごろの成果を十分に発揮でき、満足のいく結果を残せた人、緊張感などで実力が発揮できず、悔しい思いをした人など、想いは様々だと思いますが、結果を受け止め、そこから学びを得て、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

大会に参加したみなさん、本当に疲れさまでした。

県大会に進む部活動のみなさんは、次のステージに向けて、これまで積み上げてきた練習の成果を最大限発揮できるように、自らこころとからだをしっかりとマネジメントしていきましょう。そして、特に3年生は、今のなかまとともに少しでも長く、試合ができるように全力で試合に臨んでいきましょう。



部活動名	結果等
ソフトボール	1回戦惜敗
ハンドボール	第3位 県大会出場
バスケットボール 男子	1回戦勝利、2回戦惜敗
バスケットボール 女子	優勝 県大会出場
ソフトテニス	団体の部：優勝 個人の部：2ペアがベスト4進出 県大会出場
テニス	第3位 県大会出場
野球	ベスト4進出
卓球男子	個人の部：第3位 県大会出場
卓球女子	個人の部：第7位 県大会出場
バレーボール	ベスト4進出



夏休み中の学校行事等について

- 7月18日(土)から8月31日(月)までが夏休み期間となります。
- 部活動については、各部活動からの予定表をご確認ください。
- 8:30 から17:00まで職員は出勤しています。

ただし、生徒が夏休み中は、職員の研修、出張が多く実施されます。そのため教職員は校外に出て、不在の場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 7月下旬から8月にかけての予定は下の通りです。



7月18日(土)・19日(日)

中体連地区大会

(ソフトテニス個人、バレー、卓球男子団体、野球、卓球女子団体、サッカー)

7月25日(土) 三重県吹奏楽コンクール(吹奏楽部)

7月28日(火)～31日(金)

中体連県大会 ※ 7月17日現在、出場が決まっている競技のみ掲載

ハンドボール、バスケット女子、ソフトテニス団体・個人、
卓球男子個人、卓球女子個人、テニス

8月3日(月)・4日(火)

各学年サマースクール(1・3年生：対象者のみ 2年生：対象者及び希望者)

8月12日(水)～14日(金)

学校閉校日

※ 緊急の場合は、鈴鹿市教育委員会事務局学校教育課

(Tel (059)382-7618)までご連絡ください。

8月20日(木) 登校日 (3限授業)

※ 下校時間は11:25の予定です。

※ 持ち物や提出物等については、各学年から発行される「学年だより」を参照してください。